



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」

聖書(ヨハネ福音書16章33節)

牧師 河合裕志

これはイエスが最後の晩餐の時に語った言葉。イエスは間もなく十字架につけられることを知って弟子達に別れの言葉を述べた。彼らに覚悟と勇気を求めている。

イエスはこの世に産声を上げてより苦難の連続であったのでは? 馬小屋での誕生、すぐにエジプトへの避難。故郷ナザレにおいて30年余、大工仕事をなし額に汗して家族を支えた。荒れ野で40日の断食をして悪魔からの厳しい誘惑を受ける。

公生涯に入り福音の宣教に当るけれど既成勢力の風当りは強かった。従来のユダヤ教指導者は黙っていなかった。新しい教えを口にするこの新人をつぶしにかかる。非難攻撃を加える。ついにはローマの総督を唆し十字架刑を勝ち取る。ここにイエスの苦難は最高に達する。今イエスは晩餐においてそこまで見通してた。

そこでイエスは言う。あんた達にも苦難があるよ。私の弟子ということ悪口を言われるよ。石を投げつけられるよ。殉教する者も出て来るかもしれない。しかし、勇気を出せよ、わたしは既に世に勝っているから。

世に勝っている、とは何を言ったもの? これは十字架の後の復活、昇天を

指したもののよう。イエスはこれまで三度、自身の十字架と復活を予告していた。世に勝っているとはこれを先取りした言い方。更にイエスは天に帰って聖霊を遣わすと予告。そして現に聖霊は降り弟子達は聖霊を受けて伝道に打って出るようになる。聖霊はイエスの霊であり、聖霊においてイエスが弟子達に臨んでいることに。今イエスは天において全能の父なる神と共に在し、地上においては聖霊として共にいてくれる。これが弟子達を大いに勇気づけた。

それから2000年、日本。信教の自由を保障する憲法下、もはや迫害はない。別の苦難、苦しみがある。それは世の多くの人を経験するところ。病気の苦しみ、経済の心配、人間関係の難しさ……。そして今日はコロナが重苦しくのしかかっている。

こんな私達にイエスは変わることなく「勇気を出しなさい」と呼びかけている筈。挫けないで行けよ。忍び抜けよ。希望を持ち続けよ。十字架の死の苦しみを味わった私が今復活し、勝利者となって天に坐している。同時に今なお苦難の只中を歩むあなたと共にいることを忘れないでほしい……。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時~7時